

オーダーメイド型研修計画の手引き

- 1. オーダーメイド型による指導員研修について
- 2. オンラインを活用した研修について
- 3. 通信活用研修の概要
- 4. 特別な配慮を要する受講者対応に向けた研修マップ
- 5. オーダーメイド型研修 よくあるご質問【Q & A】

関連資料

- ・ オーダーメイド型研修のコース一覧
- ・ オーダーメイド型研修カリキュラム事例集
- ・ 事前チェックシート（生成AI関連コース用）
- ・ 【都道府県施設】オーダーメイド型研修の実施までの流れ
- ・ 【機構施設】オーダーメイド型研修の実施までの流れ



職業能力開発総合大学校
The Polytechnic University of Japan

令和7年9月版

1. オーダーメイド型による指導員研修について

研修受講機会の拡充と施設の一体的な職業訓練実施上の課題解決に向けて、都道府県及び機構施設からの要請に基づき、職業大と研修計画（研修カリキュラムや研修日程等）を検討の上、現地に職業大から講師が赴いて行う研修です。
※研修実施の流れは386ページをご覧ください。

1 受講対象者

- ☞ 職業訓練において訓練指導を担当している方又は担当しようとする方
- ☞ 職業訓練指導員免許を取得している方
- ☞ 訓練生の就職指導・支援を担当している方
- ☞ その他都道府県担当者や機構能力開発施設長が受講を指示した職業訓練に携わる職員（聴講となる場合があります。）
- ☞ 認定職業訓練施設、委託訓練及び求職者支援訓練実施機関の指導者及び業務上受講が必要な方 等

2 開催要件

- ☞ 最少開催人数は、原則として**10名**です。（人数の確保が難しい場合は、別途ご相談ください。）
- ☞ 事前又は事後課題に取り組むことにより、**集合研修(オンラインを含む)**を**総訓練時間の20%以上(=最低3時間)で実施する通信活用型**での実施も可能です。対応可能なコースについては、お気軽にご相談ください。
- ☞ 研修日程は連続日を原則としますが、業務の都合に応じた日程の調整には応じますのでご相談ください。

3 研修会場の準備及び経費等

- ☞ 研修会場、使用機器（プロジェクタ、PC、白板等）、研修環境及び備品については、開催会場でご準備をお願いします。
- ☞ 研修に係る経費は、職業大が負担（テキストや受講生の旅費等を除く。）しますので、受講料は無料です。ただし、民間教育訓練機関等の方は、受講料として実費分のご負担（概ね6千円程度）をお願いします。

2. オンラインを活用した研修について

オンラインを活用した研修も実施可能です。ただし、訓練効果等の観点からコース毎に講師と調整が必要な場合があります。

1 オンライン研修

- 対面型で実施していた研修⇒全日程又は一部の日程をライブ形式で実施可能
- 通信活用で実施していた研修⇒通信型研修(課題又はオンデマンド)+ライブ形式の集合研修で実施可能

2 対象コース

- 指導方法及び専門学科のうち、対面授業に相当する訓練効果(質の担保)が認められると講師が判断したコース

3 訓練時間

- 12時間以上
- 通信活用型の集合研修をライブ形式で行う場合、集合研修の時間を総訓練時間の20%以上とすることができます。

用語の説明

- オンライン : Web等の双方向通信を活用した研修の総称。
- オンデマンド : 通信活用研修の課題方式の一種。Webに課題を保管しており、いつでも繰り返し受講できます。
- ライブ : 対面の代わりにWeb等を活用した集合研修。移動を伴わずに研修を受講できます。

3. 通信活用研修の概要（詳細は個別コース毎に調整）

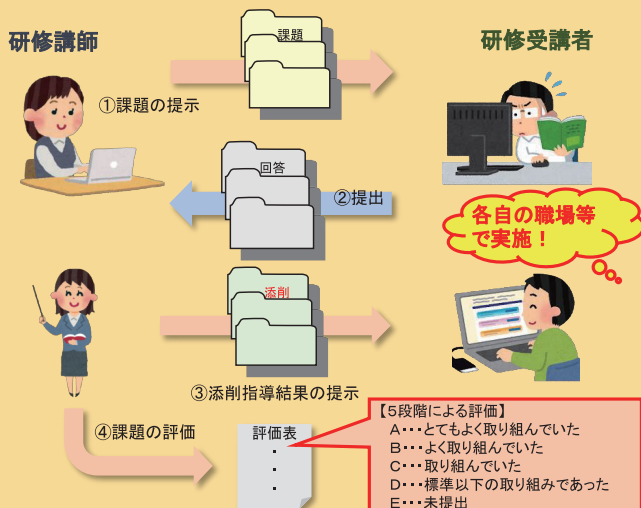
通信活用研修は、メール等の通信手段による通信研修と集合研修（オンライン含む）を組み合わせた研修の仕組みです。

事前又は事後に課題取組む形式により、集合研修を**総訓練時間の20%以上**として研修の設定ができます。ただし、全ての研修が通信活用に対応しているわけではありません。

通信研修

課題：概ね3題以上
時間：総訓練時間－集合研修時間

メール等の通信手段により集合研修の事前又は事後に課題を実施



- ※1 課題や添削指導結果は、職業大研修課から都道府県能開主管課、機構施設等を回付して研修受講者の元に届けられます。
- ※2 通信活用研修を希望される場合は、事前課題への取り組み期間を見込んだ無理のない日程で研修を予定してください。

集合研修（オンライン含む。）

研修時間：総訓練時間の20%以上

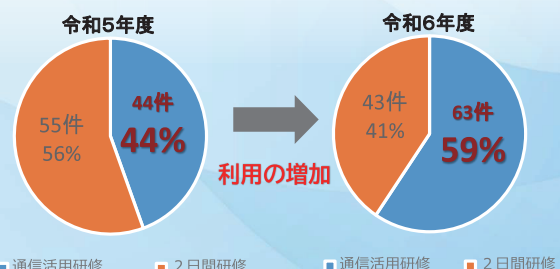
研修会場に集合又はオンラインにより参加し、研修講師から課題のねらいと目的、解説等の外、カリキュラムに沿ったテーマの研修を受講



※研修の到達目標を達成するため集合研修と課題の設定時期や時間を効果的に組み合わせて実施します。

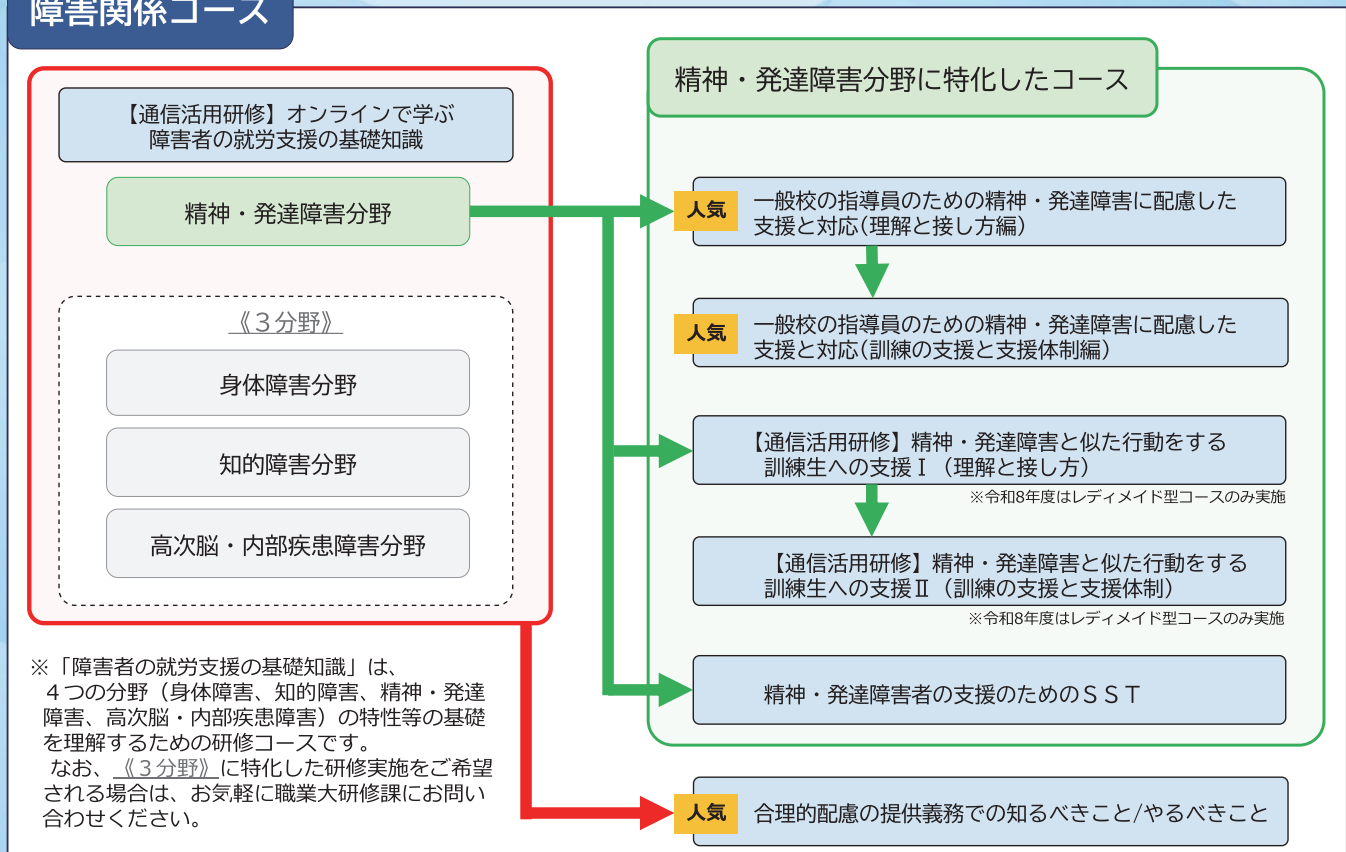
※修了要件：個別通信研修C判定以上、かつ、集合研修全時間出席

通信活用研修（1日研修）の活用状況



4. 特別な配慮を要する受講者対応に向けた研修マップ

障害関係コース



5. オーダーメイド型研修 よくあるご質問【Q & A】

Q 1 研修期間は1日に短縮できませんか？

A 指導員研修は、職業能力開発促進法施行規則（別表10）の規定により12時間以上と定められています。ただし、事前又は事後課題（6時間以上）が設定できる研修コースについては、通信活用研修（オンライン研修を含む）により集合研修を1日（3時間以上）で実施することができます。

Q 2 オーダーメイド型研修は受講者数10名以上集める必要がありますか？

A オーダーメイド型研修の必要受講者数は、原則として10名以上としています。受講者の確保が困難な場合は、お気軽に職業大研修課にご相談ください。受講者が10名に満たない場合など、当該実施施設以外からの受講者の確保、レディメイド型研修の出前型による実施（他の都道府県や機構施設から募集）など弾力的な対応を検討させていただきます。

Q 3 研修期間は連続する2日間でなければいけませんか？

A 研修の効果のため連続する2日間での開催を原則としていますが、ご要望に応じて一定期間（例：1週間から1ヶ月（最大））の間を開けての開催、土曜日や日曜日等の開催など弾力的開催も担当講師と研修の効果を勘案し実施となります。お気軽に職業大研修課にご相談ください。

Q 4 就職支援担当者や事務職員などの職員は受講できませんか？

A 都道府県又は機構の職業能力開発施設長が受講を指示した職業訓練に携わる職員は、受講が可能です。ただし、機構能開施設においては、指導員以外の職員が受講する場合は、聴講者の取扱いとなりますが、受講証明書の必要な方は交付いたします。

Q 5 通信活用研修を実施すると研修担当の手続きや仕事が煩雑になりませんか？

A 課題の受講者への取組の指示、解答された課題の回収などの期限付き業務が発生しますが、できるだけご担当者の仕事が煩雑にならないように余裕を持つように工夫し進捗管理に努めます。通信活用研修は、個別指導やきめ細かな対応による研修方式でもありますので、お手数をお掛けしますが、効果的な研修の実施に向けてご協力をお願いします。

Q 6 通信活用研修での実施を検討しているのですが、どのような研修コースでも対応できますか？

A 対応可能な研修はカリキュラム事例集に記載していますのでご参照ください。その他の研修コースについても、担当講師と協議し研修の効果を勘案の上、集合研修の時間や課題の方法等、実施可能か調整しますので、職業大研修課までお気軽にご相談ください。

Q 7 オーダーメイド型研修マップやカリキュラム事例集に掲載されていない研修コースも実施可能ですか？

A 希望する研修がオーダーメイド型研修マップ等に掲載されていない場合は、オーダーメイド型研修の希望調査票の「希望する研修コース・テーマ」欄に仮称を記入いただき、「その他の要望」欄に研修に盛り込みたい内容を記載してください。

オーダーメイド型研修 コース例

※下記コースに記載されていない研修についてもご相談に応じて実施しております。

No	オーダーメイド型研修	研修の目的（施設の課題対応）				カリキュラム例 記載の有無 (p.387～409)
		入所・入校時	受講中	修了時	④組織（チーム）力の強化	
		①定員充足率の 向上	③受講者対応・ サービスの向上	②就職率の向上		
1	カリキュラムの作り方		○		○	○
2	学習目標分析による訓練内容設計技法				○	○
3	訓練展開上の課題解決		○		○	
4	クラウドコンピューティング基礎				○	○
5	クラウドコンピューティング利用技術				○	
6	生産管理の問題解決		○			○
7	品質管理の基礎		○			
8	職業訓練DX化のためのデータ活用		○		○	○
9	指導員のための文書作成力		○			○
10	指導員のための講義プレゼン資料のブラッシュアップ		○			○
11	オンラインによるプレゼン資料の作成技法		○			○
12	職業訓練のDXに向けた(つながる)コンテンツ作成		○			○
13	訓練教材作成等における著作権(トラブル防止のための勘所)	人気			○	○
14	信頼される指導員のための技術者倫理		○			○
15	職業訓練指導員のための技能指導法実践		○			○
16	学生等への論文作成指導法		○			○
17	タブレットを活用した訓練指導法		○			○
18	航空業界から学ぶ言語化力と伝える力の向上	新規	○			○
19	見える化の基本と実践		○		○	○
20	ものづくり企業の技能・技術伝承を稼ぐ力につなげる				○	○
21	指導員に必要なリーダーシップ				○	○
22	指導員のためのセルフ・リーダーシップ(自己変革の勇気づけ)				○	○
23	指導員のためのリーダーシップ(訓練生への効果的な関わり)		○			○
24	指導員のためのリーダーシップ (効果的にクラスを運営するためのプロジェクトマネジメントの視点)		○			○
25	訓練生や学生のモチベーションアップのための承認スキルの向上		○			○
26	エニアグラムを活用したコミュニケーション				○	○
27	自己理解によるコミュニケーションアップ法(エゴグラム編)		○		○	○
28	学生等の能動性を養うコミュニケーション技法 (訓練生への事実や結果の効果的なフィードバック)		○			○
29	訓練生の生活指導		○			
30	訓練生のキャリア自律を促す研修		○			○
31	訓練生のための生産性向上手法による問題解決テクニック		○			○
32	学生や訓練生のテイキングチャージ	急上昇	○		○	○
33	1on1 ミーティングで信頼関係を構築する		○		○	○
34	価値を提供する交渉力の実践強化研修 (良い結果を導き出すコミュニケーションスキル習得)	○			○	○
35	組織としての接客対応スキルの強化(ビジネスマナーの再チェック)		○		○	○
36	クレーム対応の基礎知識	人気			○	○
37	クレームの激化を防ぐ接遇術				○	○
38	訓練現場のトラブルやクレーム等に備えるリスクマネジメント	人気			○	○
39	怒りのマネジメント研修 (怒りの感情と上手に付き合うトレーニング)		○			○
40	指導員のためのコンプライアンスリーダーシップと 感情のコントロール		○			○
41	レジリエンス力を高める研修				○	○
42	ストレスマネジメントとマインドフルネス				○	○
43	ストレスマネジメントとエニアグラムタイプ				○	○
44	ストレスマネジメントとタイプ別対応		○			○
45	訓練現場のメンタルヘルス				○	
46	ハラスメントとメンタルヘルス				○	
47	訓練現場のハラスメント対策 ～アカハラ加害者・被害者にならないために～		○		○	○
48	指導員のためのメンタルヘルスケアと 組織的な危機(自殺・惨事)対応		○		○	○
49	危険予知とリスクアセスメント「職業訓練現場の危険を見破る眼」		○			○
50	リスク発見のための訓練現場巡視				○	○

No	オーダーメイド型研修	研修の目的（施設の課題対応）				カリキュラム例 記載の有無 （p.387～409）
		入所・入校時	受講中	修了時	④組織（チー ム）力の強化	
		①定員充足率の 向上	③受講者対応・ サービスの向上	②就職率の向上		
51	学校／訓練説明会において学生／求職者の関心を集める プレゼンテーションテクニック	○				○
52	離職者訓練の効果的な募集活動	○				○
53	学卒者訓練の効果的な募集活動	○				○
54	広報における魅力的なチラシと人の集め方	○				○
55	魅力あるオープンキャンパスのプランニング	○				○
56	とりあえず行ってみたくなるイベントの作り方	○			○	
57	施設の魅力を発信するためのマーケティング戦略 -リサーチ力・提案力・発信力-	○			○	○
58	組織の活性化及び営業力向上スキル開発研修	○			○	○
59	職業訓練指導員のための就職支援早わかり			○		○
60	キャリア支援における ティーチング・コーチング・カウンセリングスキルの使い分け			○		
61	就職支援におけるグループワークを用いたコミュニケーション訓練			○		
62	ジョブ・クラフティング支援技法			○		
63	受講者の面接指導に役立つプレゼンテーション指導法			○		
64	オンラインによる面接技法			○		○
65	カウンセリングの実践(基礎編)		○		○	
66	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応 (理解と接し方編)		○			○
67	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応 (訓練の支援と支援体制編)		○		○	○
68	認知行動療法による訓練生への対応力向上研修		○			○
69	精神・発達障害者の支援のための S S T		○			
70	精神障害者 ・発達障害者を対象とした訓練指導		○			
71	合理的配慮の提供義務でのやるべきこと／知るべきこと	急上昇	○		○	○
72	円滑な訓練や施設運営に必要なファシリテーション力				○	○
73	ファシリテーション力向上研修				○	
74	顧客満足の向上につながる交渉技術	○	○		○	○
75	企業支援業務のための対応力向上研修(財務・生産性編)		○			○
76	企業支援業務のための対応力向上研修(ニーズ深掘り編)		○			○
77	企業支援業務のための対応力向上研修(人間力編)		○			○
78	業務効率化に向けたIT技術				○	
79	生成AIを活用した訓練業務の効率化とポイント 【ChatGPT】	急上昇	○		○	○
80	生成AIを活用した訓練業務の効率化とポイント 【Copilot】	急上昇	○		○	○
81	生成AIで訓練企画・運営を効率化するプロンプト設計法 【ChatGPT】		○		○	○
82	ワークライフバランス研修 (仕事を効率的に行うヒントを身につける)				○	○

- ※ 1 通信活用研修(1日集合研修)やオンライン形式の研修についてもご相談に応じて対応しております。
- ※ 2 生成AIを活用したコースについては事前チェックシートによる確認をお願いしております。(P.385参照)
- ※ 3 「人気コース」過去5年間で実施回数が多いコースです。
- ※ 4 「急上昇コース」は令和7年度に新規企画し複数回実施されたコースです。

事前チェックシート（生成AI関連コース用）

生成AIを活用したコースをご希望の際は、下記事項を必ずご確認くださいませようお願いいたします。

なお、技術進化が早い分野であることから、確認事項についても変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。（令和7年9月末時点）

確認事項	チェック欄	備考
1. PCの準備		
PC台数の準備: 受講者分のPCが準備できていますか？		ネットワークに接続
OSの確認: 最新のバージョンにアップデートされていますか？		推奨OS: Windows 11以降
ブラウザの確認①: 各PCにブラウザGoogle Chromeがインストールされていますか？		どちらか1つはインストールが必須です。
ブラウザの確認②: 各PCにブラウザMicrosoft Edgeがインストールされていますか？		
アクセス制限の確認: 生成AIサービスへのアクセスがブロックされていませんか？（各PCで生成AIサービスにアクセスできることをテストしてください）		
2. インターネット環境		
回線速度: インターネット接続が安定しており、受講者1名あたり 最低5Mbps 以上の速度を確保していますか？		確認方法: Speedtestなどでの速度確認
Wi-Fi/有線LANの確認: 会場には安定したWi-Fiまたは有線LAN接続がありますか？		有線接続を推奨
講師PCの確認: 講師が使用するPCは会場内のネットワークに接続できますか？		
3. ネットワークの制限		
URLアクセス: 下記に示す各URLへアクセスできますか。		対象コースにあわせて接続を確認
4. その他		
機能確認: メモ帳等のエディタから文字列を生成AIサービスにコピー＆ペーストできますか？		メモ帳に入力された文字がブラウザへコピー＆ペーストできることを確認
ファイル共有: 実習ファイルを配布するために、受講者全員がアクセスできる共有フォルダ等がありますか。		
提示装置: 会場には中間モニタ等による配信システムやプロジェクター装置一式が用意されていますか？		中間モニタを推奨
アプリのインストール: 使用するPCにWord、Excel、PowerPointがインストールされていますか。		

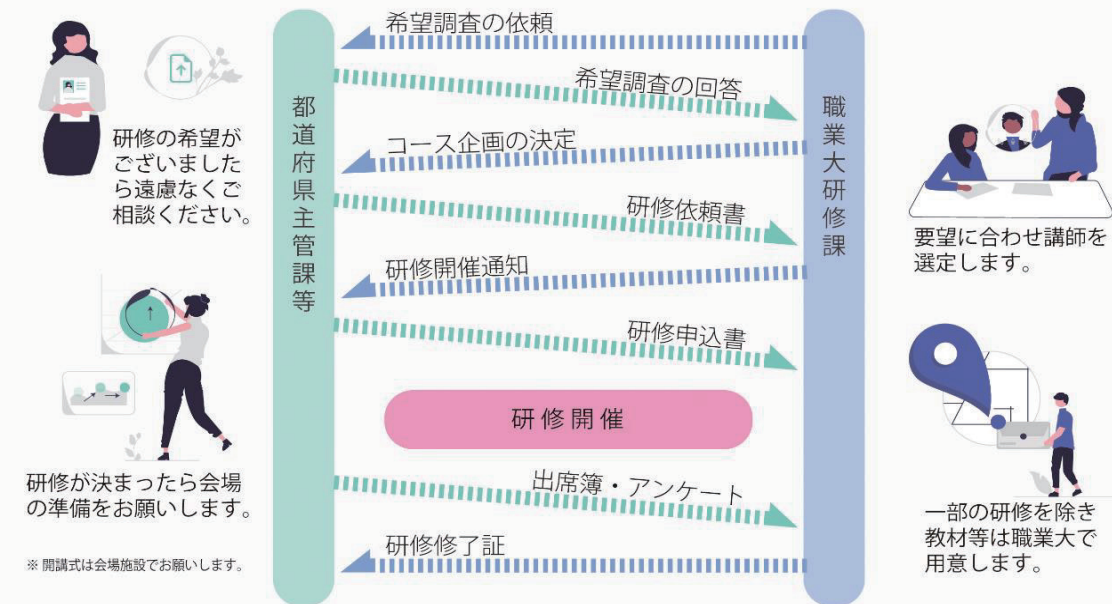
研修名：生成AIを活用した訓練業務の効率化とポイント【ChatGPT】および【Copilot】

接続確認URL	チェック欄	備考
https://www.planttext.com/		制限なくページにアクセスできることを確認
https://mermaid.live/		
http://sujoyu.github.io/plantuml-previewer/		
https://www.mycompiler.io/ja/online-python-compiler		

※チェックシートはPTU研修部webサイトからもダウンロードできます。

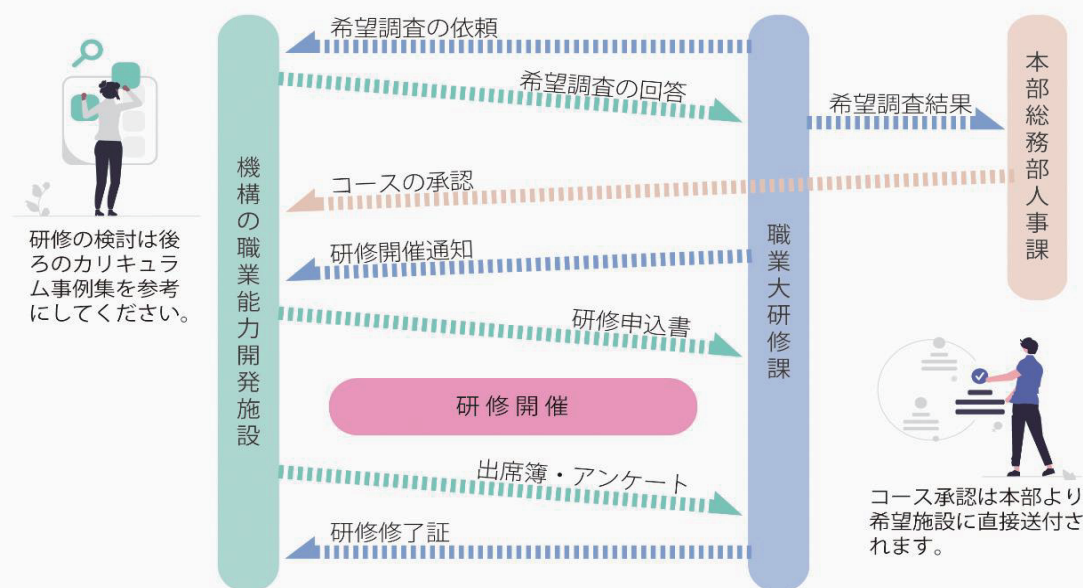
【都道府県】オーダーメイド型研修－実施までの流れ－

都道府県からのオーダーメイド型研修希望調査に基づく、研修企画から研修実施までの流れは、概ね下図のとおりとなります。



【機構施設】オーダーメイド型研修－実施までの流れ－

機構施設からのオーダーメイド型研修希望調査に基づく、研修企画から研修実施までの流れは、概ね下図のとおりとなります。



※ 民間訓練機関（委託訓練・求職者支援訓練担当）でオーダーメイド型研修を検討される方は、委託元の機構施設又は県主管課へご相談ください。